

4/6 (土) 消防団辞令交付式

文化会館小ホールで、市消防団の辞令交付式が行われ、幹部団員の辞令交付に続き、今年新たに入団した19人に辞令が交付されました。その後、場所を外に移し、矢板消防署員の指導の下、敬礼や行進などを学び、内川沿いでは新入団員たちが、実際の機材を使った初めての放水訓練を実践しました。

市長は訓示で、「地域防災の担い手のみならず、地域社会の担い手として『自ら考え、自ら行動』してほしい」と述べられました。



4/14 (日) ^{みやび} 雅な舞で春を迎える

木幡神社で、五穀豊穡や家内安全を祈願して太々神楽を奉納する春季例大祭が行われました。この太々神楽は、市の無形民俗文化財に指定されており、地元保存会の方たちにより代々引き継がれています。このほか、奉納の間には、くじの入った餅まきが行われ、拝殿の周りには福を求める多くの方たちでにぎわいました。

太々神楽を見に来た方からは「伝統的な舞と笛太鼓の音色に趣を感じる。秋の例大祭にもぜひ訪れたい」との感想がありました。



4/14 (日) 満開の桜に囲まれて

御前原公園で、「はしか地蔵尊縁日」が氏子の方たちを中心に行われました。はしか地蔵は、はしかが不治の病だった頃、はしかが治るとの言い伝えから、昔から地元の方たちが大切に奉ってきたものです。当日は、中行政区の「区民ふれあい祭り」も合わせて行われ、多くの家族連れの方たちでにぎわいました。

中行政区の村上区長は「縁日や祭りを通じて、住民同士顔の見える関係を築き、絆を深め互いを思いやることのできる地域をつくりたい」と話してくれました。



◀満開の桜の下で行われたお茶会の様子

4/20 (土) シルバーボランティア

長峰公園で、シルバー人材センター会員の方たちによる奉仕活動が行われました。この活動は、公園を訪れた方に気持ちよく利用してもらおうと、ツツジが見ごろを迎える5月前に園内の除草作業などを行っているもので、当日は、約90人の方たちが除草作業などに汗を流しました。

また、5月9日(木)には、シルバー大学校北校の卒業生約50人の方たちが、日ごろ校外活動などで利用している市役所周辺の植栽などの除草作業を行いました。活動に参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。



▲長峰公園で作業する、シルバー人材センター会員の皆さん
◀市役所周辺で作業する、シルバー大学校卒業生の皆さん

4/26 (金) 連携協定で施策を推進

とちぎフットボールセンターで、市と(株)JTBとの「スポーツ×観光分野における連携協定」の締結式が行われました。この協定は、スポーツと観光分野の施策を協働で取り組み、交流人口の増加などによる地域の活性化を推進していくことを目的としています。スポーツと観光に焦点をあてた(株)JTBとの協定締結は県内初となります。

市長からは「旅のプロと連携して、スポーツツーリズムを基軸とした地域活性化や地域課題の解決に取り組み、市民が誇れるまちづくりを実現していきたい」との話がありました。



4/28 (日) 温かな雰囲気にもまれて

矢板武記念館東蔵で地域活動団体「まちのあかり」主催の朗読会が行われました。この団体は「矢板市に集う人たちの心に温もりを届ける」をコンセプトに、市内の素敵な空間を使い、朗読会や音楽会など心温まるイベントを企画運営しています。今回は、会場に合わせ夏目漱石などその時代を代表する作家の朗読会を企画しました。

来場した方からは「朗読会と蔵の雰囲気がぴったり。壁に貼られた絵もすてきで、作品の世界観に浸ることができた。次回もぜひ参加したい」との感想がありました。



4/29 (祝・月) 熱い声援が会場を包む

運動公園野球場で栃木ゴールデンブレーブス対新潟アルビレックスBCの試合が行われ、1,156人が観戦に訪れました。試合は、延長戦となり10回裏に栃木ゴールデンブレーブスが2点を決め、5対4で逆転勝利を収めました。

また試合後には、栃木ゴールデンブレーブスの選手による市内小中学生を対象とした野球教室が開催され、約50人が参加しました。参加した子どもたちは「プロの選手に教えてもらうのはとても緊張した。これからもっと野球がうまくなるよう練習していきたい」と話してくれました。



5/3 (祝・金) 家族連れでにぎわう

道の駅やいたでは、4月27日(土)から5月6日(振休・月)まで、10連休となった今年のゴールデンウィークに、県内外から延べ約44,000人の方が訪れにぎわいをみせました。期間中には、チェンソーアート、バルーン無料配布や似顔絵イベントが行われ、道の駅を訪れた多くの方たちを楽しませました。

似顔絵に並んだ親子は「毎年、道の駅で似顔絵を描いてもらうために家族で訪れる。絵を並べて見ると娘の成長が分かるので楽しみにしている」と話し、家族の恒例行事になっているようでした。



5/6 (振休・月) **ハイキングで春を巡る**

5月6日(振休・月)から12日(日)にかけて、矢板駅を起点に市内を徒歩で周遊する「駅からハイキング」が、JR東日本大宮支社の主催で行われました。予約不要で気軽に参加できる「駅からハイキング」は、季節に応じた地域の魅力を楽しむことのできる人気の日帰りイベントで、期間中約200の方が参加しました。

参加した方たちは、矢板駅からつつじが見ごろを迎えた長峰公園を目指し、木幡神社、城の湯温泉センター、矢板武記念館などを巡る約9.5kmのコースを堪能したようでした。



5/12 (日) **キックベースで交流深める**

とちぎフットボールセンターで、地域や世代を超えた交流を深めることを目的に「スーパーキックベースボール大会2019」が開催され、参加者は4月にオープンしたばかりの新しいグラウンドで汗を流しました。また試合の空き時間にも楽しめるようニュースポーツが体験できるスペースも設けられました。

参加した親子は「芝生がフワフワしていて気持ちが良い新しいサッカー場で、ほかの地域の方と楽しく交流することができた」と感想を話してくれました。



◀ニュースポーツであるドッチピストラックアウトを楽しむ子どもたち

5/12 (日) **春の軽トラ市**

東通りおよび長峰公園で13回目となる「やいた軽トラ市」が行われ、今年も県下最大級となる70台以上の軽トラが並びました。軽トラの荷台を利用しての販売に加え、スタンプラリー、音楽ライブも行われ、市内外から多くの方が訪れるにぎやかな1日となりました。

また、今年は春の交通安全運動実施期間にあわせ、矢板警察署とタイアップし、長峰公園から塩谷町までクラシックカーパレードが実施されたほか、1日警察署長に就任した矢板市出身のプロボウラーでやいた応援大使でもある渡辺あきさんが交通安全を呼びかけました。



市選出県議が決定

市役所において、4月7日(日)に行われた栃木県議会議員選挙で当選した、青木 克明氏に当選証書が授与されました。矢板市選挙区は県内で2番目に投票率が高く、投票率54.92%(投票総数14,977票)でした。

●矢板市選挙区投票率

	男	女	合計
当日有権者数(人)	13,396	13,874	27,270
投票者総数(人)	7,232	7,745	14,977
投票率(%)	53.99	55.82	54.92



新・市議会議員紹介

4月21日(日)に行われた矢板市議会議員選挙で、16人の方が当選しました。私たち市民の代表として、大切な役割を担う議員の皆さんを紹介します。任期は、平成31年4月30日から令和5年4月29日までとなります。

石塚 政行 (50歳)
①乙畑1626番地2 ②飲食店経営 ③無所属
④1回 ⑤子育て世代が元気で笑顔のあふれる夢のあるまち

掛下 法示 (69歳)
①成田1099番地546 ②学童支援員 ③無所属
④1回 ⑤地域ごとに住みやすく、安全で災害に強いまち

神谷 靖 (58歳)
①東町1232番地50 ②無職 ③公明党
④1回 ⑤安心・安全で暮らしやすく子育てしやすいまち

櫻井 恵二 (62歳)
①末広町15番地15 B-203号 ②会社役員
③無所属 ④2回 ⑤子育てしやすいまち、高齢者が暮らしやすいまち、働きやすいまち

高瀬 由子 (56歳)
①木幡2054番地1 ②学習塾経営 ③無所属
④2回 ⑤若いも若きも共に集い助け合う、愛と夢と笑顔にあふれた"絆"のまち

中里 理香 (48歳)
①中2014番地12 ②学習教室経営 ③無所属
④2回 ⑤男性も女性も共にチャレンジでき、夢を実現できるまち

藤田 欽哉 (43歳)
①扇町二丁目1番24号 ②保険業 ③無所属
④2回 ⑤元気があふれる楽しいまち

伊藤 幹夫 (59歳)
①中2002番地5 ②会社員 ③無所属
④3回 ⑤商工農が連携した持続的に仕事のできるまち

小林 勇治 (64歳)
①安沢1345番地 ②牧師 ③無所属
④3回 ⑤平和で自然と共生するまち

佐貫 薫 (44歳)
①乙畑1736番地1 ②元会社員 ③無所属
④3回 ⑤地域経済の活性化から、子育て・教育・福祉の充実したまちへ

関 由紀夫 (61歳)
①木幡673番地1 ②販売業 ③無所属
④3回 ⑤市民の皆さまの声を市政に反映させることができるまち

和田 安司 (58歳)
①扇町一丁目13番4号 ②ホテル業 ③無所属
④4回 ⑤行政と市民の皆さまとの協働により、少子高齢化社会に対応するまち

石井 侑男 (72歳)
①扇町一丁目8番31号 ②衣料品小売業
③無所属 ④5回 ⑤市民の皆さまが夢と希望を持ち、安心・安全に健やかに暮らせるまち

中村 久信 (65歳)
①泉580番地 ②元会社員 ③無所属
④5回 ⑤みんなが希望にあふれ、いきいきとして夢と笑顔のあるまち

宮本 妙子 (63歳)
①長井1245番地1 ②雑貨小売業 ③無所属
④5回 ⑤安心と愛情のある住みよいまち、互いを思いやるまち

今井 勝巳 (70歳)
①扇町二丁目1番5号 ②自営業 ③みんなの党
④7回 ⑤公図混乱が解消され、地域経済が発展するまち

①住所 ②職業 ③所属 ④当選回数 ⑤矢板市をどのようなまちにしたいか ※掲載は、期別(当選回数)の50音順 ※年齢は4/30現在